

**大学・高専機能強化支援事業**  
**(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】**  
**事業概要**

令和5年7月時点

**1. 基本情報**

選定年度	令和5年度	学校コード	F145310111556
大学名	南九州大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	宮崎県
大学全体の総収容定員数	1,240名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	健康栄養学部（管理栄養学科、食品開発科学科）、環境園芸学部（環境園芸学科）、人間発達学部（子ども教育学科）		

**2. 事業概要**

<p>宮崎県は持続可能なフードビジネスの発展を目指している（「みやざきフードビジネス振興構想」）。一方、食品産業の労働生産性は全国平均以下で、生産性向上にAI、IOTなどDX化が不可欠なものの「<b>使いこなせる人材がいない</b>」（事業者アンケート結果：生産・製造業32.4%、流通・飲食サービス業50.9%）。</p> <p>これら<b>地域のニーズ</b>に対して、<b>製造から販売までの汎用的なデジタルスキルと健康、医療、食品の専門性</b>を併せ持った人材を育成するため、入学定員50名、収容定員200名からなる<b>地域・医療・食品・健康・データサイエンス学科（仮称）</b>を健康栄養学部<span style="font-size: small;">に</span>令和9年度に開設予定である。</p> <p>本学科においては、同学部のDX教育（R3文科省DX専門人材育成事業採択）をさらに拡張する。カリキュラムの特徴としては、<b>STEAM教育</b>を柱に、<b>食と医療、マルチメディアと食などダブルメジャー</b>を志向した履修プログラムを構築し、<b>オンデマンド講義と実践的な演習授業を組み合わせ</b>、併せて<b>メタバースキャンパス</b>も構想し、<b>フルーツフルみやざきDX人材（FMDX人材）</b>を育成する。</p>
--

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出予定	令和7年度					
	※既に申請・届出している場合はその年度を記入					
改組内容	既存学部における学科の新設					
設置等組織名	健康栄養学部 <b>地域・医療・食品・健康・データサイエンス学科（仮称）</b>					
設置等組織の学位分野	家政関係	工学関係	農学関係			
当該学部等の所在地	宮崎県宮崎市					
入学定員	50名					
収容定員	200名					
入学定員の増加数	50名					
他学部等の入学定員の減少数	50名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入入学定員を含む。



<基本情報>

改組予定年度：令和9年度  
 改組内容：既存学部における学科の新設  
 設置等組織名：健康栄養学部 地域・医療・食品・健康・データサイエンス学科（仮称）  
 入学定員：【R9新設】50名  
 所在地：宮崎県宮崎市

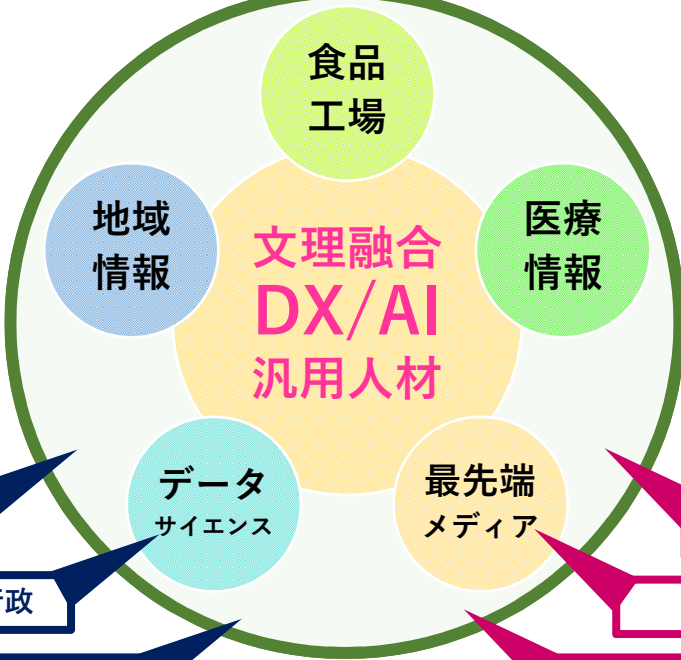
**フルーツフルみやざきDX人材：FMDX人材**  
 フルーツの実り豊かな宮崎県は、サンサンと太陽が降り注ぐ日向（ひなた）の国。そんなカラフル（Colorful）で、実り多い（Fruitful）な多彩な才能（Talents）をもったDX人材を育成します。

**コンセプト：フルーツフルみやざきDX人材の育成 Fruitful Miyazaki DX Talents**  
 食と医療（新たな健康情報学）、最先端メディアと食（SDGs）などダブルメジャーを志向しAI・情報工学を取り入れた履修プログラムを構築し、オンデマンド講義と実務家教員による実践的な演習授業を組み合わせ、更にメタバースキャンパスも構想することにより、文理を超え地域・産業に貢献する汎用的IT人材を育成。

**宮崎県のDXに関する地域ニーズ**  
 （申請要件③、⑦）

- 宮崎県は「みやざきフードビジネス振興構想」（R5年改訂）を策定、持続可能なフードビジネスの発展を目指している。
- 宮崎県の農業産出額は全国4位、一方、食料品製造業出荷額は全国27位で、製造業の高付加価値化が課題である（新たな6次産業の創出）。
- 「（AI、IOTなど）使いこなせる人材がいらない」と回答した事業者は、生産・製造業で32.4%、流通・飲食サービス業で50.9%というIT人材不足。

リアル&メタバースキャンパス



**PRポイント：オール宮崎**  
 （申請要件②、④、⑤、⑪、⑫）

- 高等教育コンソーシアム宮崎は、社団法人化など連携を強化。
- 宮崎大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学、南九州大学は、SPARC事業（R4）で共同プログラムを展開。
- 健康栄養学部は、DX専門人材育成事業（R3）で、食品分野におけるDX人材育成でユニークな教育を展開。
- ステークホルダーである地域の産業界、食品業界と地域行政との関係（リカレント教育・共同研究開発）を強化し外部資金を確保。
- 中堅文系人材の地元大学進路を確保。

県内中高（入学者）

地元経済団体（ステークホルダー）・行政

食品産業界（就職先・新たなポジショニング）

SPARC参加大学（共通科目）

連携推進法人（大学運営の連携）

高等教育コンソーシアム宮崎（教員派遣）